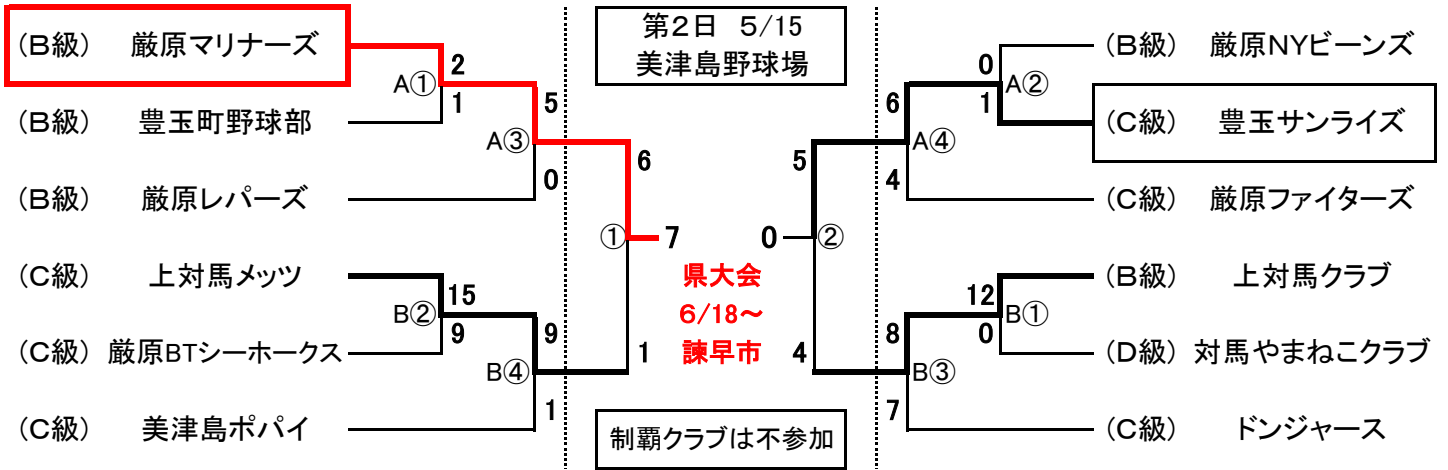


天皇賜杯 第66回全日本軟式野球 対馬予選会

会期: 第1日 = 平成23年4月24日(日)

会場: A=厳原野球場 B=美津島野球場



【一回戦】A① 09:27～ 1時間37分

厳原マリナーズ	000 001 1	2
豊玉町野球部	100 000 0	1

【二】森田

厳原が終盤の六回に追いつき、最終の七回に勝ち越した。それまでの厳原は四回まで無走者。五回に先頭の神宮が出るも二塁を踏むのがやっとだったが、六回に安打と四球に悪送球で追い付くと、七回は安打の小川が暴投と内野ゴロで三進した二死後に福島が左へ弾いた。

豊玉は初回に先頭が死球。二盗後に三ゴロ悪送球で幸先の1点を挙げたが、その後は2安打6四死球に敵失などで再三の走者を出すのが効果打無し。六回には先頭の森田が左二塁打するも中軸が連続一飛で追加点を挙げられず、七回も先頭が四球を犠打で進めて上位に回ったが、投手牽制球で刺された後に二者連続四球の一二塁は、期待の森田が一飛。

【一回戦】A② 11:18～ 1時間25分

豊玉サンライズ	000 001 0	1
厳原NYビーンズ	000 000 0	0

【二】中嶋

サンライズの小嶋が無四球で完封した。被安打は3本だが五回一死後の梅野の安打は二盗死で、六回は稲員に先頭で浴びたが三塁への牽制球で挟殺し、七回に小田に喫したのは二死後で、結果的にB級の厳原ビーンズを残塁1に封じた。

攻めては初回に波多野が安打と四球の一死一二塁を逸したりで、五回までに2敵失や四球などで走者を出すも適時打が出なかった。六回先頭の波多野が左前打し二三盗を決めた二死後に中嶋が左中間突破して決勝点を挙げた。

この両チームは二週間後に行なわれる高松宮賜杯1部と2部の決勝戦進出が決まっている。

【一回戦】B① 09:29～ 1時間10分 (5回コールド)

対馬やまねこクラ	000 00	0
上対馬クラブ	222 6X	12

【二】中庭、辻、神宮

初回に2敵失1四球で2点を先取した上対馬は、二回には死四球の2走者を辻の右線二塁打で還した。三回は捕逸と神宮の適時二塁打で追加し、四回には佐護以下の4連安打を含む5安打と2敵失に乗じて打者10人で6点を奪ってコールドに仕留めた。

やまねこクラブは先週の日本マスターズ予選に続いて2週連続の試合だったが2試合通じて19失点の無得点。この試合での得点機は初回の連続敵失による二死一三塁。二回は一死二塁、三回には二死後に中庭の右中間二塁打、四回は死球と吉本が安打の一死一二塁などがあつたが、後続が倒れた。

やまねこクラブは5月20日から岡山県倉敷市で開催の『西日本還暦野球大会』に出場する。そこでの健闘を祈る。

【厳原マリナーズ】打安点球

②宮原 大輔	3 0 0 0
⑧武本 龍太郎	3 0 0 0
⑦岩本 一也	3 0 0 0
③神宮 大司朗	3 1 0 0
⑤小川 達明	3 1 0 0
①小田 拓也	3 0 0 0
⑥福島 剛士	3 1 1 0
⑨石崎 博巳	3 1 0 0
④山代 毅	1 0 0 1
犠0振4残3	25 4 1 1

【豊玉町野球部】打安点球

⑤扇 祥喜	2 0 0 2
⑧築城 貴憲	3 0 0 1
④森田 将平	4 1 0 0
②村瀬 裕亮	2 0 0 1
①小島 洋平	2 0 0 0
⑦長瀬 健彦	2 1 0 1
⑥上野 哲平	3 0 0 0
③阿比留慎太郎	1 0 0 2
⑨波田 一徹	2 0 0 0
犠2振1残8	21 2 0 7

【審判: 山田聡ほか厳原ファイターズ4名】

【豊玉サンライズ】打安点球

⑦波多野 健一	3 2 0 0
⑤築城 公則	3 0 0 0
⑥津屋 敏彦	2 0 0 1
⑨中嶋 佳祐	3 1 1 0
⑧村瀬 康展	3 0 0 0
①小嶋 忠志	3 0 0 0
③阿比留寿也	3 0 0 0
④中嶋 慎一	2 0 0 0
②村瀬 新吾	1 0 0 1
犠0振3残3	23 3 1 2

【厳原NYビーンズ】打安点球

⑥西山 静	3 0 0 0
⑦豊永 昇平	3 0 0 0
①小田 剣生	3 1 0 0
②米田 宏之	3 0 0 0
⑧梅野 直樹	2 1 0 0
③木寺 孝志	2 0 0 0
⑤稲員 雄馬	2 1 0 0
⑨上野 裕貴	2 0 0 0
④神宮 実	2 0 0 0
犠0振3残1	22 3 0 0

【審判: 築城貴憲ほか豊玉町野球部4名】

【対馬やまねこ】打安点球

⑦梅野 時吉	3 0 0 0
⑥柴田 孝文	3 0 0 0
①中庭 貢	2 1 0 0
1 島居 洋	1 0 0 0
④原田 初見	2 0 0 0
H 古瀬 宙	1 1 0 0
③9 山城 啓資	3 0 0 0
⑧渡辺 博美	1 0 0 1
②吉田 栄	1 0 0 0
3 阿比留善雄	0 0 0 1
⑨2 吉本 誠一	2 1 0 0
⑤齊藤 芳久	2 0 0 0
犠0振0残8	21 3 0 2

【上対馬クラブ】打安点球

⑥梅野 英和	3 1 0 1
⑤辻 将司	3 1 2 0
①中原 恵一	2 0 0 1
③佐護 正己	3 2 0 0
⑧小宮 憲司	3 1 1 0
②井上 敬司	2 1 1 0
④神宮 仁	3 2 2 0
⑨竹内 亮介	2 0 0 1
⑦原 陽佑	3 0 0 0
犠0振1残4	24 8 6 3

【審判: 西川典夫ほか美津島ポパイ4名】

【一回戦】B② 10:54～ 1時間53分 【本】小宮、小島(上)

厳原BTシーホーク	050 112 0	9
上対馬メッツ	301 065 X	15

【三】板井、小宮
【二】小宮

二回に渕上の2点適時打や四球押し出しなどで逆転した厳原は四回と五回にも加点して3点のリードを取っていたが、五回裏の無死一塁から小宮の右中間ランニング弾により同点とされ更に3失策が絡んで逆に3点を追う立場になった。六回には敵失と早田の安打に連続四球で押し出し竜田の適時打で1点差まで詰め寄ったが反撃もここまで。

メッツは板井の三塁打を口火に小宮の三塁打に梅野の連続適時打などで初回に3点。三回は小宮の適時二塁打で加点していった。止めは1点リードで迎えた六回。2四球走者を小島が左翼フェンス越え3ランで突き放した後に中村と平間が連打し、相手守備の乱れで相次いで生還して5点を奪った。

シーホークスは11人の走者を塁上に残して無念の敗戦。

【二回戦】A③ 12:55～ 1時間30分

厳原マリナーズ	001 300 1	5
厳原レパーズ	000 000 0	0

【二】田中

マリナーズは初回の一死三塁を二飛併殺で潰した。二回にも一死三塁を捕手牽制球で逸するなど序盤は拙攻が目立った。だが三回一死後に山代が中前打で出るとすかさず二盗。宮原の中前打で還って先制点を挙げると、四回は四球と安打の一塁をきちんと送って小田の2点タイムリーに牽制悪投と2個の暴投で追加点を奪った。更に七回は一死満塁から武本の右適時打で加点した。だが続く一死満塁で中軸が連続捕邪飛は前年の天皇賜杯大会対馬代表チームとしては拙攻続き。

対するレパーズもチームの平均年齢が毎年上がっており、以前の勢いが見られず左腕の岩本に8三振を喫し、散発3安打に甘んじた。

【二回戦】A④ 14:38～ 1時間30分 (延長8回無死満塁制)

豊玉サンライズ	200 000 04	6
厳原ファイターズ	200 000 02	4

【二】波多野

延長八回無死満塁制を戦って試合時間は90分。両投手とも無四球だと試合のテンポは良い。

豊玉が波多野と築城の連続長短打の一三塁に守備の乱れで波多野が還り、三進した築城が津屋の三ゴロ野選で2点を挙げたのに対し、厳原は敵失と小島和が安打の一三塁に鎌田の投ゴロと松本の左飛失で同点とした。

二回以降は両チームとも決め手を欠いて、延長八回の無死満塁制。先頭の村瀬新の投前スクイズ内野安打や三ゴロに、津屋の2点タイムリーで4点挙げた豊玉に対し、連続遊ゴロで2者しか本塁を踏めなかった厳原が敗戦した。

この対戦は今季開幕の西日本2部代表決定戦の再現で、今回は豊玉サンライズが競り勝った。

【二回戦】B③ 12:59～ 1時間36分 (延長8回無死満塁制)

ドンジャース	210 000 04	7
上対馬クラブ	011 100 05x	8

【三】小宮、神宮
【二】長岡、中原

3-3同点で延長八回無死満塁制は共に1番からの好打順。長岡の2点二塁打と中嶋の右前2点打で鮮やかに走者を一掃したドンジャースは尚も敵失で一三塁。この好機に三者が凡退したのが最後に響いた。

上対馬は梅野の一ゴロで三走が還ったが、この打球が失する間に二走も本塁へ。更に遊ゴロで3人目が還り一塁悪送球で一死二塁。神宮の右中間三塁打で同点とし中原の左飛でタッチアップの神宮が決勝の生還。

先制したのはドンジャース。敵失と井村が安打の二三塁に上松の遊ゴロと投手三塁牽制球で幸先の2点。二回は四球の吉村が二三盗後に長岡が左へ。その後は好機が無かった。

追う上対馬は二回先頭の中原が左二塁打。四球と小宮の安打で無死満塁。投ゴロで捕⇒一の併殺の間に二走の佐護が本塁突入し生還。三回は先頭で出た原が二盗を決め悪送球の間

【シーホークス】打安点球

⑧小島 亮一	3 0 0 2
⑤多田 直樹	4 0 1 1
②神宮 保夫	3 0 0 2
⑭早田 光治	5 1 0 0
⑥原口 大輔	4 0 0 1
④①小島 亮	3 2 1 1
③渕上 泰光	3 1 2 0
H9阿比留竜馬	0 0 1 1
⑨中庭 一穂	2 1 0 0
93浅野 竜一郎	2 0 0 1
⑦竜田 洋平	1 1 1 2

犠1振5残11 30 6 6 11

【上対馬メッツ】打安点球

⑧9板井 将之	5 1 0 0
⑨岡田 司	2 0 0 0
H81財部 晃	2 0 0 1
③河本 法満	3 0 0 1
⑥7小宮 光	3 3 5 0
⑤梅野 恭平	3 1 1 1
②小島 圭祐	3 2 3 1
④中村 朝輝	3 1 0 0
⑦松村 克広	2 0 0 0
R6平間 友則	2 1 1 0
⑭8石橋 直也	3 0 0 0
H8扇 則昭	1 0 0 0

犠2振3残5 32 9 10 4

【審判:藤島亨ほか対馬やまね4名】

【厳原マリナーズ】打安点球

②宮原 大輔	4 1 1 0
⑧武本龍太郎	4 1 1 0
①岩本 一也	3 0 0 1
③神宮大司朗	3 1 0 1
⑤小川 達明	1 0 0 0
5鬼橋 佑介	1 0 0 0
⑦6小田 拓也	3 1 2 0
⑥福島 剛士	2 0 0 0
7永田 祐樹	1 0 0 0
⑨石崎 博巳	1 0 0 2
④山代 毅	3 2 0 0

犠1振3残5 26 6 4 4

【厳原レパーズ】打安点球

⑦扇 裕二	3 1 0 0
⑥一宮 努	3 0 0 0
⑧1田中 淳也	3 1 0 0
⑤川崎 仁	3 0 0 0
⑭8木屋 勝也	3 0 0 0
⑨林田 芳和	3 1 0 0
④志賀 慶二	2 0 0 1
③内山 歩	1 0 0 1
H舍利倉政司	1 0 0 0
②阿比留新吾	1 0 0 1

犠0振8残5 23 3 0 3

【審判:勝見賢次ほか厳原ビーンズ4名】

【豊玉サンライズ】打安点球

⑦波多野 健一	4 1 1 0
④築城 公則	4 1 0 0
⑥津屋 敏彦	4 1 3 0
⑨中嶋 佳祐	4 1 0 0
①小嶋 忠志	3 0 0 0
③阿比留寿也	3 0 0 0
⑤小宮 剛	3 1 0 0
⑧村瀬 康展	3 0 0 0
②村瀬 新吾	3 1 1 0

犠0振1残4 31 6 5 0

【厳原ファイターズ】打安点球

⑧永留 和秀	4 0 1 0
⑦小島 和也	4 1 1 0
⑥鎌田 成二	4 0 1 0
③松本 浩毅	2 1 0 0
①山田 聡	3 0 0 0
④斉藤 友輝	3 0 0 0
⑨山田 徹	3 1 0 0
②5扇 龍二	2 0 0 0
H2小島 孝治	2 0 0 0
H2山田 茂	1 0 0 0

犠1振2残5 28 3 3 0

【審判:神宮大司朗ほか厳原マリナーズ4名】

【ドンジャース】打安点球

⑥長岡 亮	4 2 3 0
④中嶋 洗祐	4 1 2 0
⑤井村 昭洋	4 1 0 0
⑧上松 洋	4 0 1 0
②黒岩 陽介	4 0 0 0
③永留 潤也	4 1 0 0
⑨中村 誠也	3 0 0 0
⑦吉村 貴志	2 0 0 1
①中庭 俊樹	3 0 0 0

犠0振11残5 32 5 6 1

【上対馬クラブ】打安点球

⑥梅野 英和	4 0 1 0
③辻 将司	4 1 1 0
④神宮 仁	3 1 1 0
⑤中原 恵一	3 1 1 0
①佐護 正己	2 0 0 1
⑧小宮 憲司	3 2 1 0
②井上 敬司	3 1 0 0
⑨竹内 亮介	2 0 1 0
⑦原 陽佑	3 1 0 0

犠3振2残3 27 7 6 0

【審判:神宮保夫ほか厳原BTシーホークス4名】

に本塁に還った。同点としたのは四回に右中間三塁打の小宮が竹内の中飛で本塁に滑り込んだ。だが上対馬は三回と七回にも併殺を喫しており、この試合3併殺打を記録した。

【二回戦】B④ 14:51～ 1時間09分 (5回コールド)

上対馬メッツ	013 05	9
美津島ポパイ	100 00	1

【本】小島(上)、扇
【二】小島(上)

二回に先頭の黒岩が右前に。これがワンバウンドで頭上を越えるランニング本塁打で同点としたメッツは、三回敵失と死四球で好機を広げ財部の左前2点適時打などで3点挙げてアッサリと逆転した。四回は三者三振に倒れたが、五回に猛攻を仕掛けた。先頭の平間が歩いた一死三塁から、小宮の左前打、小島の左越えエンタイトル二塁打、財部の遊撃内野安打に、扇が豪快に左翼フェンス越え3ランの4連打で5点を挙げた。

ポパイは初回到四球から捕逸や田口のバントが悪送球を誘って先取点を挙げたが、ノーヒットでは打つ手無く敗戦した。

【審判:中原恵一ほか上対馬クラブ4名】

【上対馬メッツ】打安点球

⑨1 板井 将之	3 0 0 0
④ 平間 友則	1 0 0 2
③ 河本 法満	2 0 0 1
⑦ 小宮 光	3 1 1 0
⑤ 小島 圭祐	3 2 1 0
⑥ 財部 晃	3 2 3 0
② 扇 則昭	3 1 3 0
⑧ 岡田 司	2 0 0 0
H9 松村 克広	1 0 0 0
① 米田 周市	2 0 0 0
H 中村 朝輝	1 0 0 0
8 石橋 直也	0 0 0 0
犠0振6残3	24 6 8 3

【美津島ポパイ】打安点球

⑦ 江嶋 潔	0 0 0 2
3 西川 典夫	1 0 0 0
⑧ 田口 憲一	1 0 0 0
② 田中 健一	2 0 0 0
① 中尾 寿憲	2 0 0 0
③7 小島 勝也	2 0 0 0
⑥ 波田 正嗣	1 0 0 1
⑤ 石橋 隆弘	2 0 0 0
④9 嶺 桂太	2 0 0 0
⑨4 藤島 隆之	2 0 0 0
犠1振3残3	15 0 0 3

【準決勝①】 9:55～ 1時間40分

厳原マリナーズ	130 001 1	6
上対馬メッツ	000 000 1	1

【三】宮原
【二】山代、武本、扇

山代がいきなり左中間二塁打した初回のマリナーズは宮原の適時左前打で優位に立った。続く二回にも四球を足場の無死二塁から鬼橋の遊ゴロが本塁への野選となり、白石の右飛失や重盗などで3点を追加した。終盤の六回は先頭の黒岩が歩いた二死三塁に武本が右中間二塁打。最終の七回も先頭の宮原が右中間を抜く三塁打しボークによりダメ押しの6点目を挙げ、5安打を全て得点に結びつける効率の良い攻め。

対する上対馬メッツは先週の高松宮賜杯2部決勝戦で勝利し県大会への切符は手中にしている。だが厳原先発の岩本の前に四回までに出した走者は四回先頭の中村が四球出塁のみ。五回から登板の中村に対しても7人が3三振1四球。七回に登板の白石は平成19年まではメッツの一員。死球出塁の平間を白石の球筋を読んだ扇が右越え二塁打し二盗の平間を迎え入れて3人リレーによる完封を免れたのがやっとだった。

【厳原マリナーズ】打安点球

⑨ 山代 毅	4 1 0 0
⑤ 宮原 大輔	4 2 1 0
⑦2 坂本 元太	4 0 0 0
③ 神宮 大司朗	2 0 0 2
① 岩本 一也	1 0 0 1
H17 中村 裕也	2 0 0 0
④ 黒岩 克成	1 1 0 2
H4 小田 拓也	0 0 0 1
⑥ 鬼橋 佑介	2 0 1 0
6 福島 剛士	2 0 0 0
②1 白石 勝太	4 0 0 0
⑧ 武本 龍太郎	3 1 1 0
8 石崎 博巳	0 0 0 0
犠0振4残8	29 5 3 6

【上対馬メッツ】打安点球

⑥ 中村 朝輝	2 0 0 1
⑧ 岡田 司	3 0 0 0
⑤ 平間 友則	2 0 0 1
② 扇 則昭	3 1 1 0
③1 板井 将之	3 0 0 0
①3 米田 周市	3 0 0 0
④ 松村 克広	3 0 0 0
⑨ 部原 敏貴	2 0 0 0
⑦ 内山 大志	1 0 0 0
H7 白浜 恒之	0 0 0 1
犠0振9残3	22 1 1 3

【審判:吉野徹、一宮努、山田聡、藤島隆之】

【準決勝②】 11:48～ 2時間02分

豊玉サンライズ	020 201 0	5
上対馬クラブ	001 021 0	4

【三】佐護

放った安打は双方とも5本。だが残塁数が合計21では2時間ゲームにもなろう。豊玉が優位に試合を進め逃げ切った。

二回の豊玉は死球と敵失の無死二三塁に村瀬康の2点左前打で先制すると、1点差とされた四回には代わった梅野から四球と敵失を得、犠打で二死二三塁とし津屋が左に弾いて引き離れた。再び1点リードの六回は先頭の阿比留が安打。二盗後に連続ボークにより加点した。

平成18年以来5年ぶりの天皇賜杯県大会出場に燃える上対馬クラブは三回に梅野英の内野安打を間の3死四球で押し出し点。五回には敵失を足場に佐護、梅野加、小宮の3連安打に押し出しで1点差まで迫る。六回にも二死から敵失走者を佐護の左中間三塁打で還し、同点の機会を作ったがここまで。

【豊玉サンライズ】打安点球

③ 阿比留 寿也	4 2 0 0
⑤ 築城 公則	2 0 0 1
⑥ 津屋 敏彦	4 1 2 0
⑦ 吉田 周平	3 0 0 1
④ 井上 誠一	3 0 0 1
① 小嶋 忠志	2 1 0 2
⑨ 中嶋 佳祐	4 0 0 0
⑧ 村瀬 康展	3 1 2 1
② 村瀬 新吾	3 0 0 1
犠1振3残10	28 5 4 7

【上対馬クラブ】打安点球

⑥ 梅野 英和	4 1 0 0
⑤ 辻 将司	3 0 0 1
④ 神宮 仁	2 0 0 0
H4 武末 俊一	2 0 0 0
③1 佐護 正己	3 2 2 1
① 中原 恵一	2 0 0 0
13 梅野 加寿人	2 1 0 0
⑧ 小宮 憲司	3 1 1 1
⑦ 扇 伸秀	2 0 1 2
② 井上 敬司	3 0 0 1
⑨ 大浦 英悟	3 0 0 1
犠0振3残11	29 5 4 7

【審判:藤島亨、川崎貴夫、志賀慶二、中庭一穂】

【決勝】 14:05～ 1時間45分

厳原マリナーズ	210 003 1	7
豊玉サンライズ	000 000 0	0

【三】白石、武本
【二】小田、坂本

厳原が坂本の4連続安打を含む毎回11長短打の猛攻と新人小田がノーヒットノーランを演じる好投で豊玉を圧倒した。

初回に敵失と内野安打と四球の二死満塁に小田の左中間二塁打で2点先取の厳原は、二回も二死満塁に坂本の左適時打で加点した。だがこの二回とも記録に出ない走塁ミスがある。初回は満塁で小田が左中間を抜き二塁を回ったが返球で三塁死。この時に一走の神宮は本塁に達しておらず2点どまり。二回には先頭の黒岩が四球と二盗の無死二塁に牽制球死。その後3連続死四球で満塁。一ゴロ本封の二死から坂本が左へ弾いたが二走の山代が好返球で本塁憤死した。

六回は坂本の適時二塁打と小田の2点タイムリーで加点し七回にも代打武本の三塁打を代打石崎の二ゴロで還した。

今大会でB級2チームを倒して勝ち上がった豊玉は二回到2四球を得たが右中間打の併殺に倒れ得点機を逸した。

【厳原マリナーズ】打安点球

⑨ 山代 毅	3 0 0 1
H9 石崎 博巳	1 0 1 0
⑤ 宮原 大輔	5 2 0 0
⑧ 坂本 元太	5 4 2 0
③ 神宮 大司朗	2 0 0 2
⑦ 岩本 一也	3 1 0 1
① 小田 拓也	4 2 4 0
④ 黒岩 克成	1 0 0 2
H6 福島 剛士	1 0 0 0
② 白石 勝太	2 1 0 1
H2 武本 龍太郎	1 1 0 0
⑥4 鬼橋 佑介	2 0 0 1
H4 中村 裕也	1 0 0 0
犠0振2残10	31 11 7 8

【豊玉サンライズ】打安点球

⑥1 津屋 敏彦	3 0 0 0
⑤ 築城 公則	3 0 0 0
⑦ 吉田 周平	3 0 0 0
③ 松井 直輝	2 0 0 1
①69 小嶋 忠志	2 0 0 1
⑧ 阿比留 寿也	2 0 0 0
④6 井上 誠一	2 0 0 0
⑨ 中嶋 佳祐	1 0 0 0
H4 中嶋 慎一	1 0 0 0
② 村瀬 新吾	2 0 0 0
犠0振3残2	21 0 0 2

【審判:初村勝也、山田聡、内山歩、阿比留祐一】

天皇賜杯対馬予選会の決勝戦戦績と、県大会(平成5年～19年の間は2チーム参加)での戦績

昭和61年より対馬予選会(6町代表対抗戦)が始まる		県大会での戦績	
61年	上対馬クラブ 9-1 厳原海王	棄権 電通ユニオンズ(宍岐)	
62年	豊玉クラブ 5-3 美津島ポパイ	1-4 海自造修所(佐世保)	
63年	厳原ワイズ 5-2 上対馬クラブ	0-9 親和銀行(佐世保)	
元年	〃 2-1 佐護リバーズ	1-0 菊池病院(松浦) 降雨順延を棄権 対:県経済連(長崎)	
2年	美津島マーシャルズ 3-0 厳原ワイズ	3-0 福江球友会 2-1 佐世保市水道局 4-2 小浜クラブ(南高) 【決】 7-0 親和銀行	
3年	厳原ワイズ 7-3 美津島ポパイ	7-3 中村クラブ(大村) 2-6 県共済連(長崎)	
4年	豊玉町野球部 2-0 〃	1-0 JA福江 7-3 奈良尾ク(上五島) 【準】 0-6 轟ク(北高)	
平成5年より6町8チームの予選会とし、県大会に2チーム(県連登録20チーム以上により)参加となる			
5年	上対馬ライオンズ 9-4 峰ファイターズ 県: 2-6 JA長崎共済連(長崎)	5年	美津島ポパイ 2-0 上県佐護リバーズ 県: 0-5 佐世保市役所
6年	厳原ワイズ 6-1 上対馬メッツ 県: 4-6 佐世保クラブ	6年	美津島マーシャルズ 3-0 厳原レパーズ 県: 3-4 生月体協(県北)
7年	厳原ワイズ 4-0 厳原シーガルス 県: 1-3 佐世保クラブ	7年	豊玉町野球部 4-0 峰ファイターズ 県: 0-2 国見野球クラブ(南高)
8年	豊玉町野球部 1-0 上対馬クラブ 上対馬クラブが代理出場 5-6 舩田グループ(上五島)	8年	上対馬メッツ 2-1 大洋真珠クラブ ★上対馬大会直前に集団食中毒で県大会を棄権
9年	厳原レパーズ 7-1 上県佐護リバーズ 県: 6-2 西海棒球队(西彼) 2-4 ソニー長崎(諫早)	9年	峰ファイターズ 4-2 豊玉サンライズ 県: 0-4 ヨシスポーツ(諫早)
10年	県大会が対馬開催で開催地特別により、4チームが参加	上対馬クラブ 9-3 アリアケジャパン(県北) 6-2 島原市役所第三野球部 1-5 アイケン医院 厳原マリナーズ 9-2 国見野球クラブ(南高) 0-5 三菱重工長崎 美津島ポパイ 6-4 石田ジャガーズ 2-3 西部ガス(長崎) 豊玉町野球部 3-1 平戸クラブ 1-10 佐世保クラブ	
11年	豊玉町野球部 5-2 厳原マリナーズ 県: 1-0 千々石町体協(南高) 2-4 舩田グループ(上五島)	11年	美津島マーシャルズ 3-2 大洋真珠クラブ 県: 0-2 諫早信用金庫
12年	上対馬クラブ 7-0 上対馬メッツ 県: 0-7 西海棒球队(西彼)	12年	峰ファイターズ 3-1 豊玉町野球部 県: 2-11 福江球友会
13年	厳原マリナーズ 3-2 上対馬メッツ 県: 2-0 国見クラブ(南高) 0-12 アイケン医院(佐世保)	13年	厳原レパーズ 1-0 豊玉町野球部 美津島ホークスが代理出場 0-13 大村市役所
14年	厳原マリナーズ 2-1 美津島マーシャルズ 県: 0-7 アイケン医院(佐世保)	14年	美津島クラブ 4-2 厳原ファイターズ 県: 0-4 全田平(県北)
15年	厳原レパーズ 5-0 厳原ファイターズ 県: 0-4 三菱重工長崎	15年	上県アスレチックス 3-2 上対馬メッツ 県: (雨天順延棄権)福江ドリームスター
16年	上対馬メッツ 1-0 厳原マリナーズ 県: 0-6 親和銀行	16年	厳原ブラックタイガース 2-0 厳原レパーズ 県: 1-6 たちばな信用金庫(諫早)
17年	厳原マリナーズ 6-5 厳原NYビーンズ 厳原ビーンズが代理出場 2-8 三菱重工長崎	17年	厳原ファイターズ 1-0 制覇クラブ 県: 5-4 上五島クラブ 0-8 ソニー九州(諫早)
18年	厳原マリナーズ 9-0 制覇クラブ 県: 11-3 有明町クラブ(島原) 0-2 ソニー九州(諫早)	18年	上対馬クラブ 2-1 厳原NYビーンズ 県: 1-3 西有家クラブ(県南)
平成19年は全登録16チーム参加で2ブロックの予選会を行ない、県大会に2チームが参加となる			
19年	厳原マリナーズ 9-2 厳原ファイターズ 県: 0-10 親和銀行	19年	上対馬メッツ 4-2 美津島マーシャルズ 県: 3-4 平戸クラブ
平成20年より、県大会には1チーム参加となる		県大会での戦績	
20年	厳原マリナーズ 3-1 上対馬クラブ	1-2 島原市役所	
21年	〃 8-5 豊玉サンライズ	6-8 アイケン医院(佐世保)	
22年	〃 7-3 豊玉町野球部	1-6 三菱重工長崎	
23年	〃 7-0 豊玉サンライズ		

厳原マリナーズ 4連勝の戦績	20年	(不戦) 美津島マーシャルズ	7-1 上対馬メッツ	9-2 厳原ファイターズ	3-1 上対馬クラブ
	21年	9-1 ドンジャース	5-1 厳原ブラックタイガース	6-5 豊玉町野球部	8-5 豊玉サンライズ
	22年	(不戦) ドンジャース	6-0 厳原ファイターズ	4-0 厳原ビーンズ	7-3 豊玉町野球部
	23年	2-1 豊玉町野球部	5-0 厳原レパーズ	6-1 上対馬メッツ	7-0 豊玉サンライズ